

ルーマニアと日本の外国語習得の違いについて

平成30年度 3年1組(22) 鶴田萌恵 指導
教育学部 秋山正宏

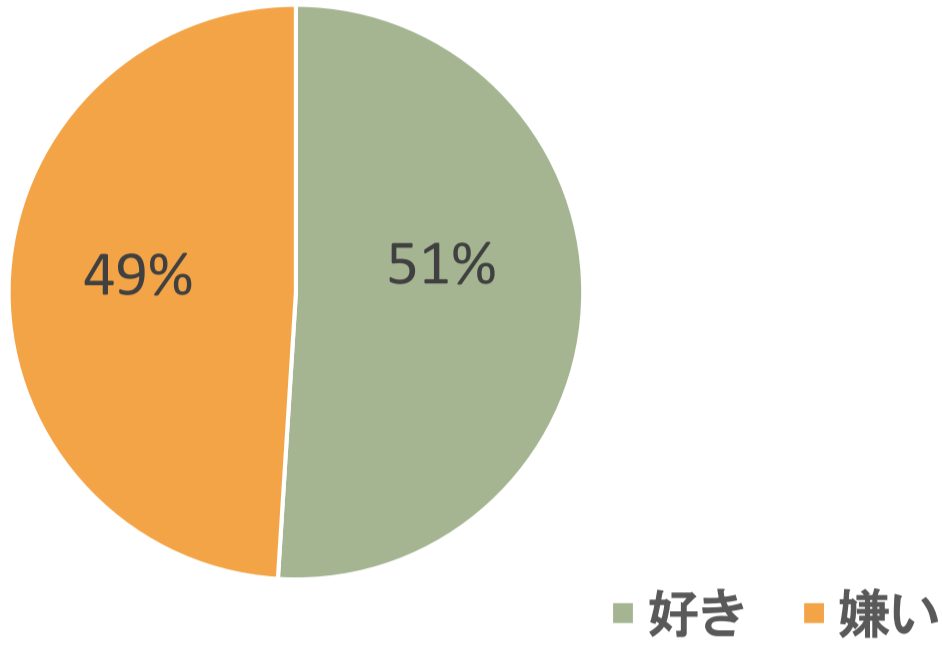
動機

2年生の時、海外研修でルーマニアを訪れた。ルーマニアの母語はルーマニア語であるにも関わらず、外国語である英語や日本語を流暢に話す生徒が多く見られた。日本人は英語が話せないと言われる。ルーマニアと日本の間には外国語の習得の仕方について違いがあるのではないかと考えた。

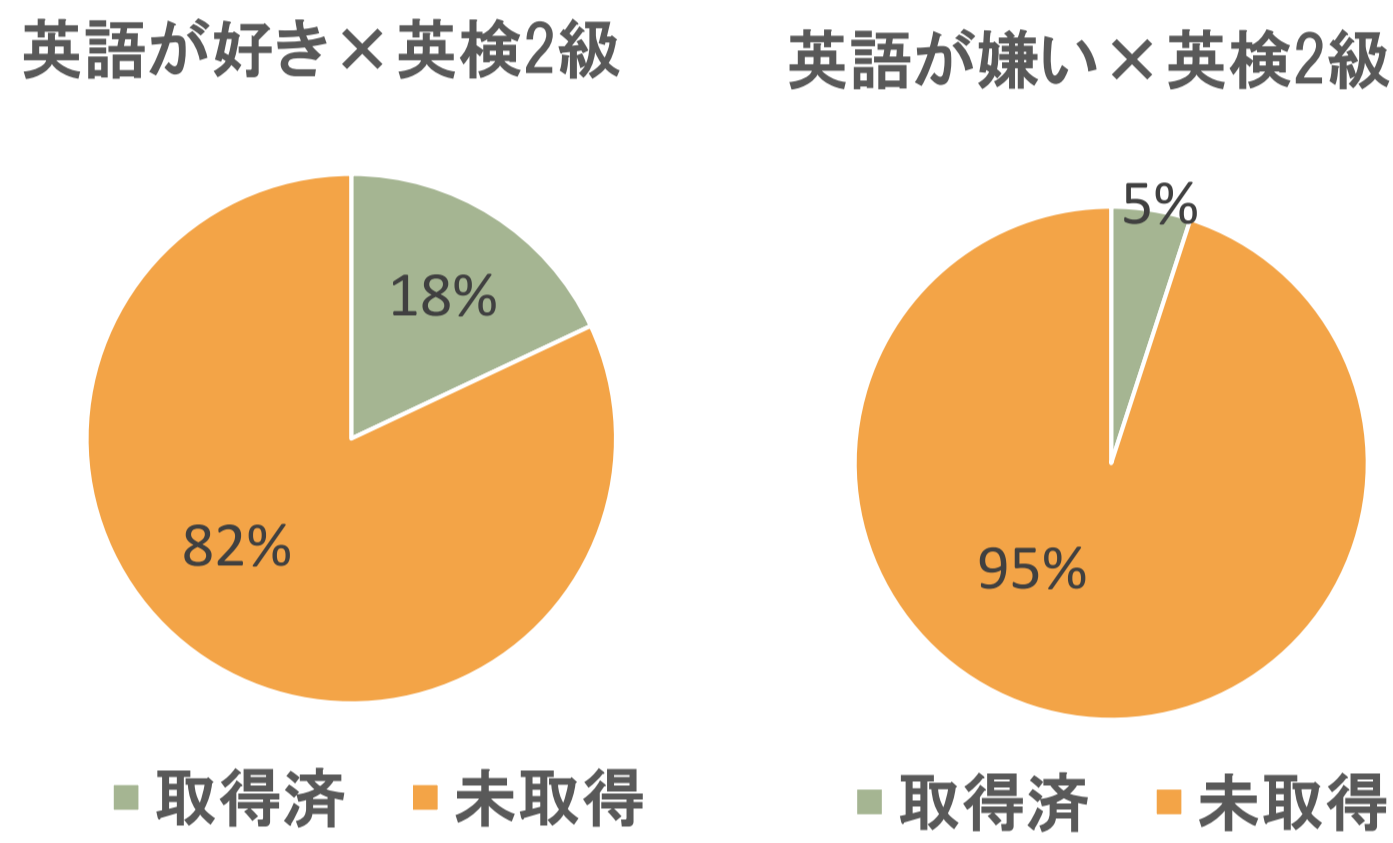
調査方法

- ・愛媛大学附属高校の全校生徒360人に紙媒体のアンケートを実施
- ・ルーマニアのイオン・クレーンカ高校(全校生徒240人)の日本語クラスの生徒72人にインターネットを使ったアンケートを実施
- ・ルーマニアの生徒にインタビュー調査を実施

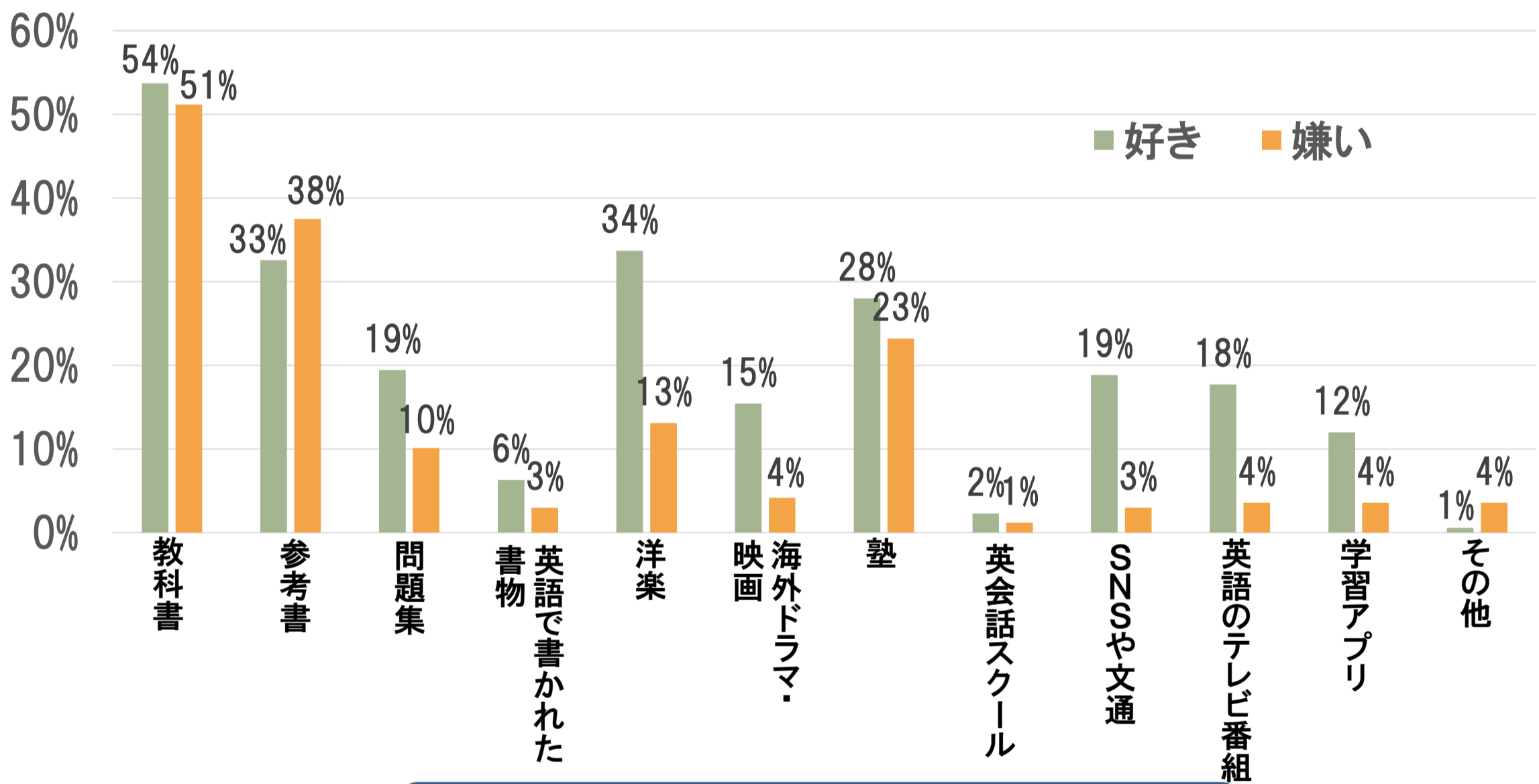
[1]愛媛大学附属高校生のうち英語が好きな生徒の割合



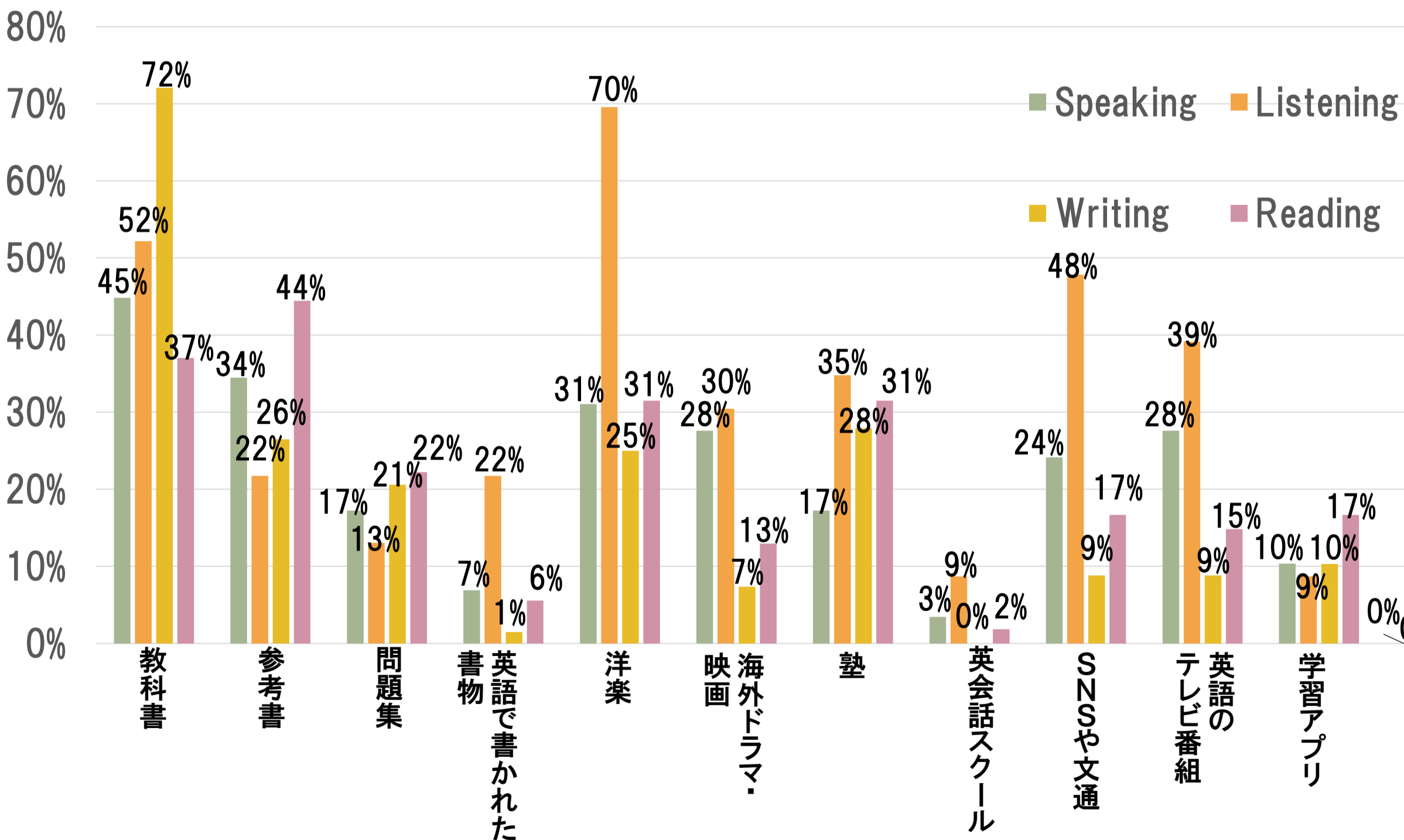
[2]愛媛大学附属高校生の英検2級取得状況



[3]英語が好きな人と嫌いな人の勉強方法の違い



[4]英語が好きな人の勉強方法



[9]勉強方法の違い

得意な技能	Speaking	Listening	Writing	Reading
ルーマニア日本語クラス(72人)	教科書・問題集・書物・海外ドラマ(18%)	データなし(0%)	教科書・問題集・書物(57%)	教科書・問題集・書物・海外ドラマ(71%)
愛大附属「総合英語」選択者(52人)	教科書(22%)	教科書・洋楽・SNS(26%)	教科書(28%)	参考書(39%)

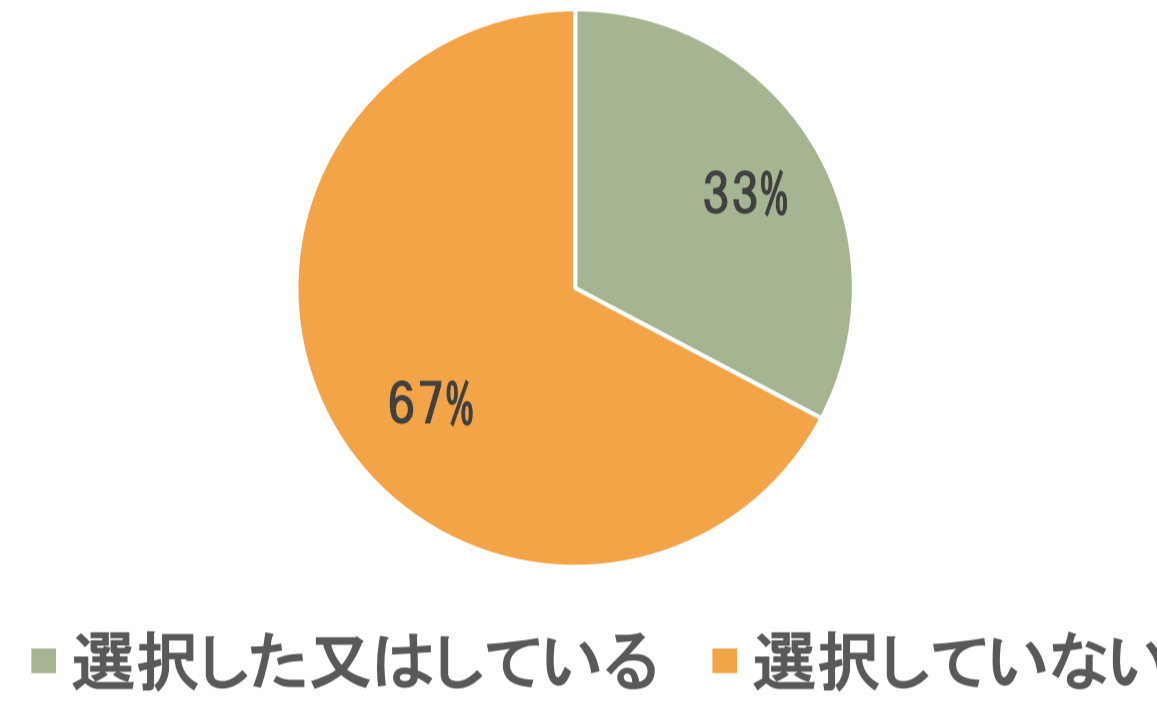
目的

- ① ルーマニアと日本の外国語学習法を比較する
- ② 「話せない英語」を「話せる英語」に変える勉強方法を見つける

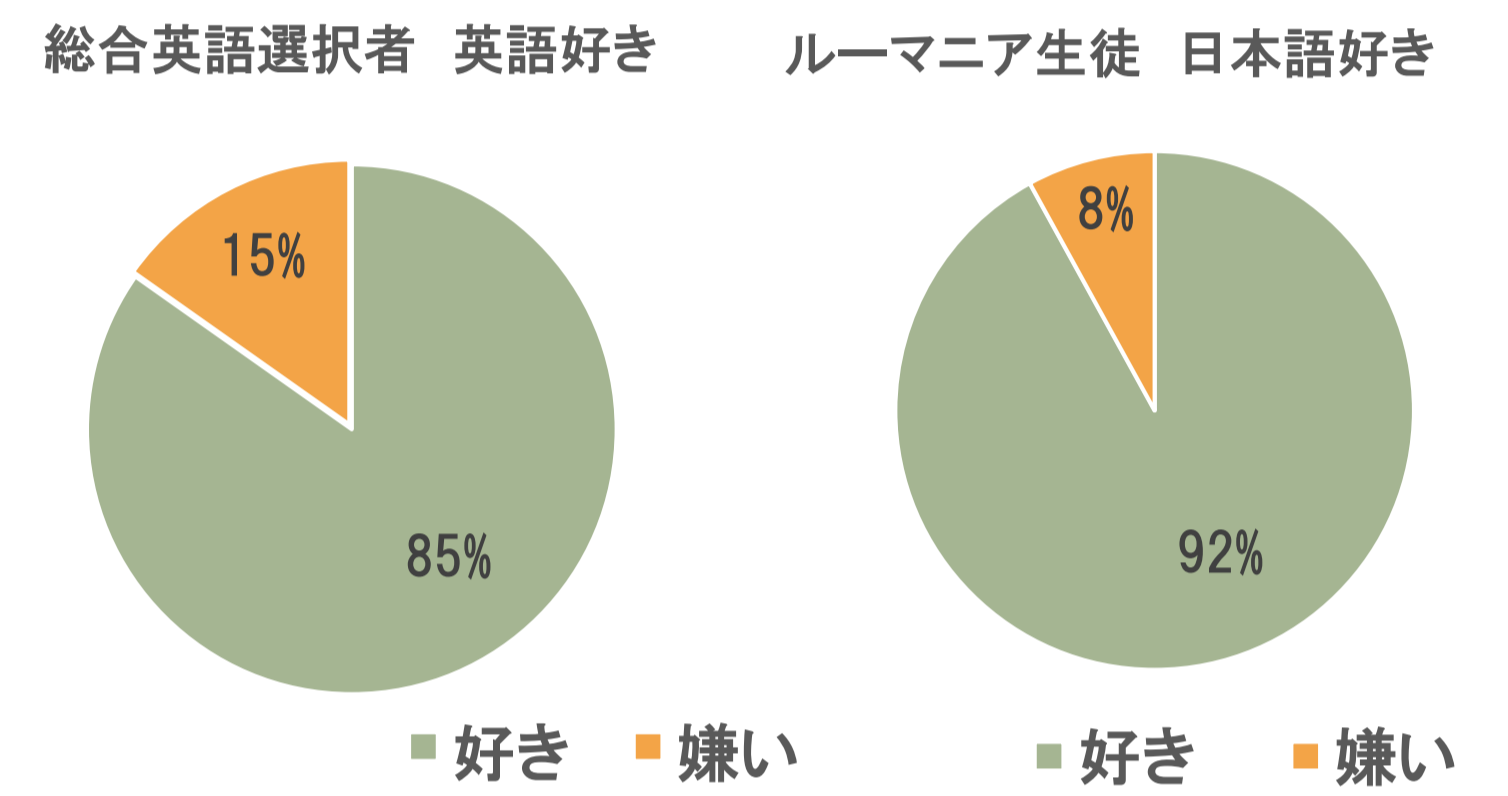
アンケート項目

- (1) 英語技能検定2級以上を所有していますか？ 1 はい 2 いいえ
- (2) 2年生以上の方にお尋ねします。2年次の選択科目で総合英語を選択していますか、又はしましたか？ 1 はい 2 いいえ
- (3) 英語は好きですか？ 1 はい 2 いいえ
- (4) 4技能の中でどれが得意ですか？(複数回答可) 1 Speaking 2 Listening 3 Writing 4 Reading
- (5) 4技能の中でどれが得意になりたいですか？(複数回答可) 1 Speaking 2 Listening 3 Writing 4 Reading
- (6) 総合英語を選択し履修している、または履修した方にお尋ねします。なぜ総合英語を選択したのですか？(複数回答可) 1 英語が好き 2 英語が得意 3 海外の国や地域に興味がある 4 海外の文化に興味がある(洋楽など) 5 ALTと会話ができる 6 英語を話せるようになりたい 7 自分の意見を英語で書きたい(英作文など) 8 自分の意見を英語で述べたい(ディベートなど) 9 その他
- (7) 普段、どのように英語を勉強していますか(授業・宿題を除く)？(複数回答可) 1 教科書を使った自主学習 2 参考書 3 自分で選んだ問題集 4 英語で書かれた書物(英字新聞・小説・漫画など) 5 洋楽を聴く 6 海外ドラマ・映画を見る(吹き替えは除く) 7 塾 8 英会話スクール 9 英語圏の人とSNSや文通でやり取り 10 英語のテレビ番組・DVD・YouTube 11 学習用アプリ 12 その他
- (8) 何のために英語を勉強しますか？(複数回答可) 1 試験でよい点数を取りたい(大学入試や定期考査を含む) 2 海外の文化に興味がある 3 外国人と英語で交流したい 4 英語を使う仕事に就きたい(翻訳家・外資系企業など) 5 海外に行きたい 6 その他

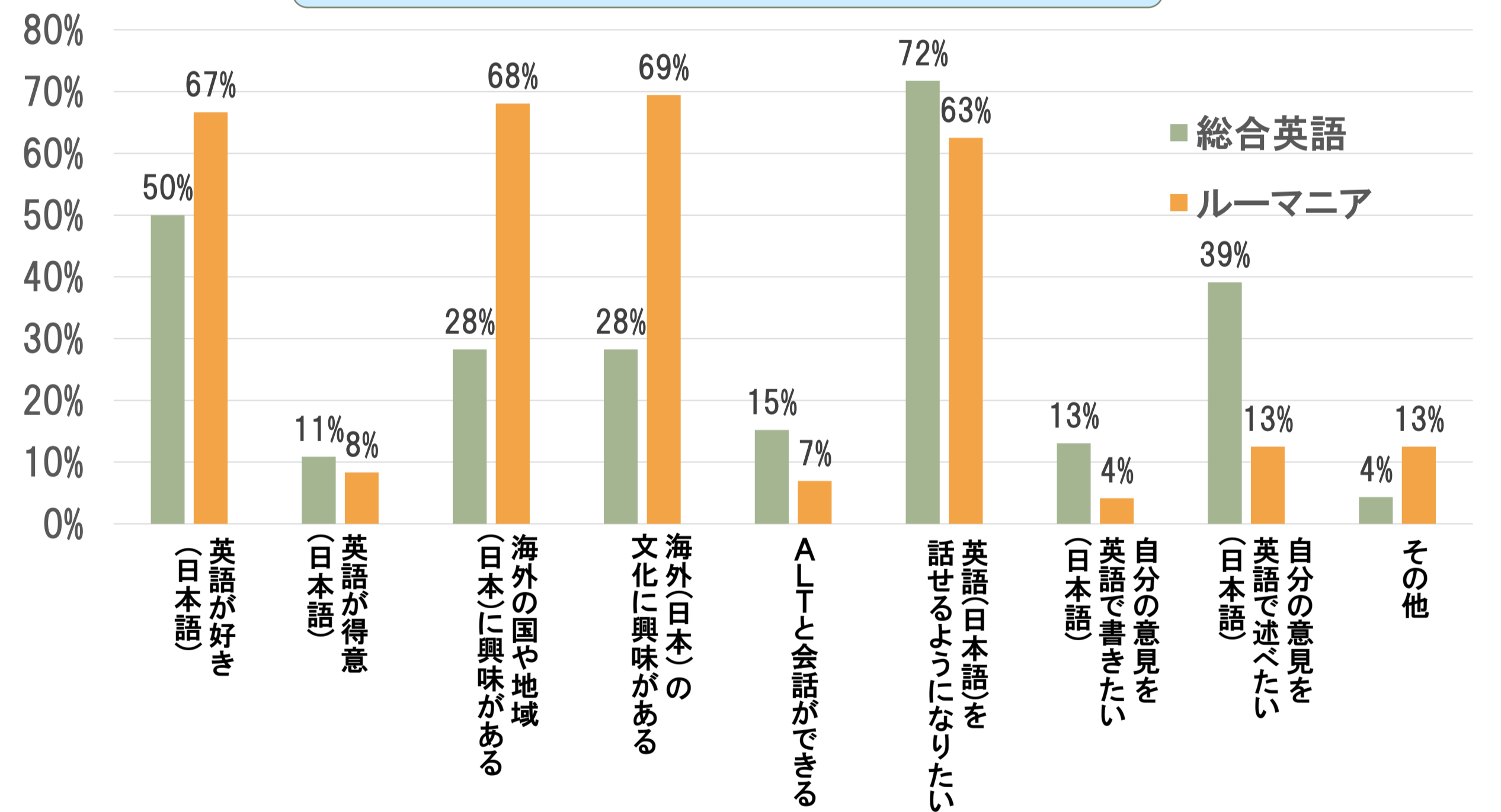
[5]2年次に「総合英語」を選択した人の割合



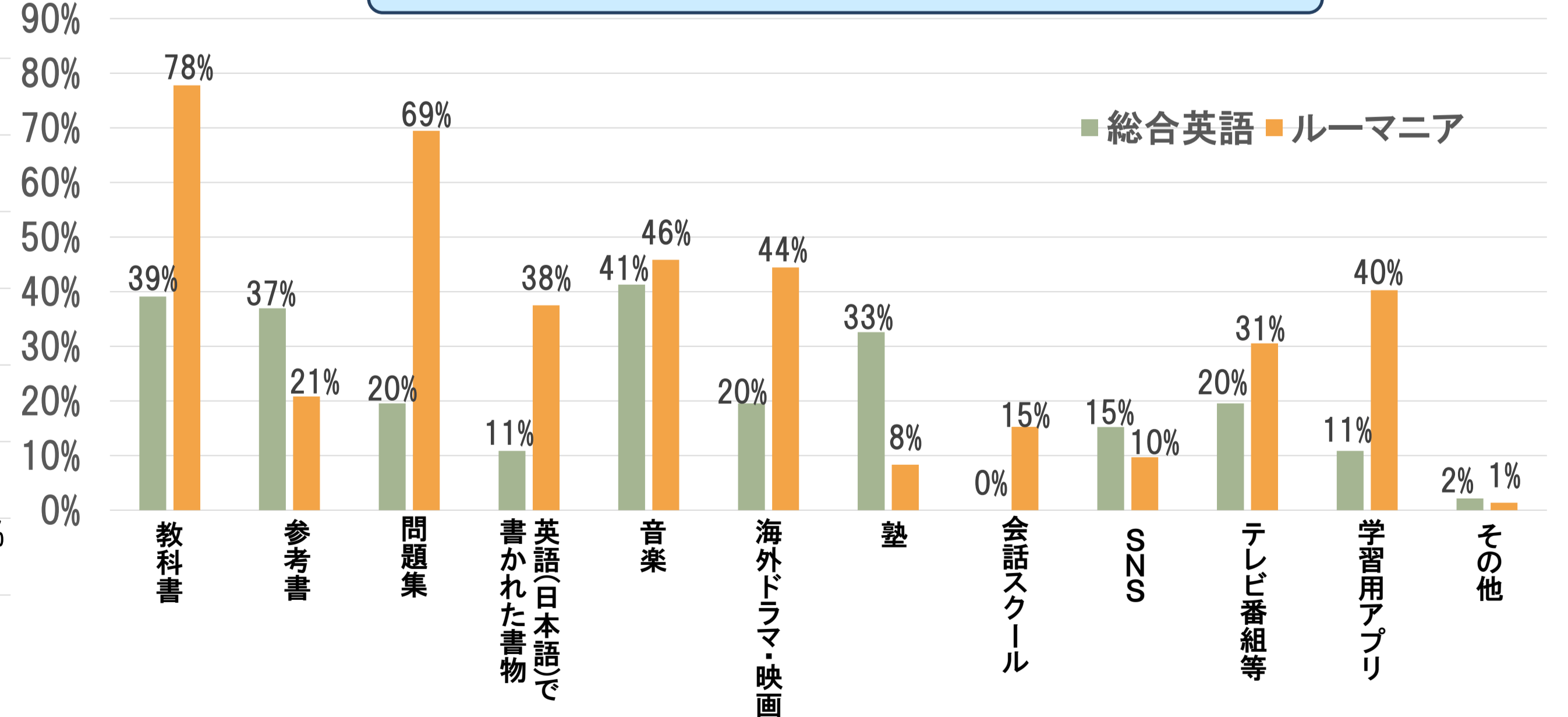
[6]英語(日本語)クラスを選択した人のうち英語(日本語)が好きかどうか



[7]英語(日本語)の授業を選んだ理由



[8]英語(日本語)をどのように学んでいるか



まとめ・考察

- ① WritingとReadingを得意としているルーマニアの生徒は様々な勉強方法を取り入れていることが分かった。→日本の外国語の勉強も様々な種類の教材を提案するとよいのではないだろうか。
・ルーマニアの方が愛大附属より、外国語を学ぶことに目的意識をしっかりと持っていると感じた。
→それぞれが外国語学習に対する目的を見つけ、モチベーションを上げることが大切である。
- ② ルーマニアのSpeakingが得意だと答えた生徒が予想よりも少なかったため、「話せる英語」にする方法を提案することが出来なかった。
・ルーマニアでは4技能の得意・不得意に大きな差が見られたが、日本ではほぼ同じ数値になった。

謝辞

この研究の指導をくださった愛媛大学教育学部の秋山正宏先生、アドバイスや課題研究の日程をくださった河合先生、本当にありがとうございました。

反省

・得意・不得意の基準に個人差があるため正確な比較ができなかった。